



かどましりつとしょかんだより

2023年 10月 第38号

あさゆう すず ひ ふ あき
朝夕は涼しい日も増えて、秋らしくなってきました。秋は過ぎしやすい気候になることから
「〇〇の秋」といわれ、物事にとり組むのにぴったりな季節といわれてきました。スポーツや
げいじゅつ
芸術はもちろんですが、秋といえばやっぱり読書。読書の秋を楽しんでくださいね。

おすすめの本

「学校はうたう」

杉本深由起／詩 松田奈那子／絵 あかね書房



えほん

この本では、校門・机・くつばこ・いす・運動場など学校にあるいろんなものたちがきもちを自由にうたっています。ものには命があることに気づかされます。学校に見守られているようで「明日も学校に行きたいな」というきもちになります。巻末では、この詩を作った人がそれぞれの詩についてくわしく説明しています。

「きのこぼうやともりのおしごと」

やまだみかこ／さく WAVE出版



えほん

もりできれいなきのこをみつけたおんのは、きのこのかさにはさまれてうごけなくなっていた「きのこぼうや」をたすけてあげました。おいにきのこのせかいで、きのこのおしごとをおしえてもらうことに。もりのなかでのきのこのやくめをすることができる、おはなしえほんです。

「えんぴつはだまって」

あんずゆき／作 たごもりのりこ／絵 文溪堂



やさしいよみもの

4年生のえっちゃんが学校でひろったえんぴつには、古いものにつく妖怪「つくも神」がついていた。つくも神は大阪弁でよくしゃべってうるさいけれど、そのえんぴつをつかうとテストで100点をとれるので、大助かり。ある日、つくも神の友だちがいる倉庫の物がすてられると知り、えっちゃんたちはいい考えを思いつく。

「お話のたきぎをあつめる人」

ローレンティン妃&パウル・ヴァン・ローン／作

西村由美／訳 徳間書店



よみもの

森のはずれにすむステレはおじいちゃんとうふたりぐらし。本が大好きだけど、家にある本は1冊だけで、なんども読んだせいでばらばらになってしまいました。さみしがるステラにおじいちゃんはだれもないお城の中に「図書館」があることを教えてくれます。オランダの新しいおとぎ話。

としょかんクイズ

10月31日はハロウィン。ハロウィンは、先祖の幸せを願い、祈ったりお供え物をしたりする「サムハインの祭り」が始まりとされています。では、このお祭りを行っていたのは、なんという民族でしょうか。

こたえ→ Y4114

◆おまけ◆

ケルト人とは、古代にヨーロッパのライン川からドナウ川にかけて住んでいた民族のことで、ガリア人とも呼ばれています。

【参考文献】

- ・ポプラディア⑧ P278
- ・365 日なんでも大事典 P35



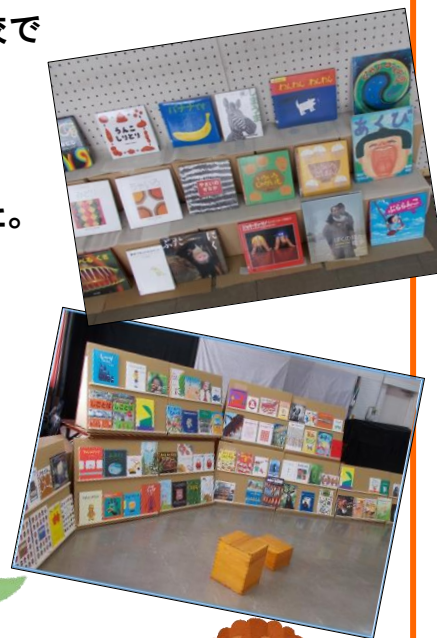
えほんのひろば

7月は脇田小学校、9月は五月田小学校でえほんのひろばを開催しました。

みんな自由に絵本とふれあい、おともだちと楽しい時間をすごしました。

11月は大和田小学校と東小学校におじゃまする予定です。いっしょにお気に入りの1冊を見つけましょう！

「えほんのひろば」では300さつのえほんやしやしんしゅうをずらりとならべ、おともだちやせんせいとじゆうにほんをよむことができます



次号は12月上旬に発行予定

